

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 3 - 9
作成年月日 H24. 7. 31
事業区分 ☒ 継続規 ☐ 新規

事務事業名 林道整備事業

事業開始年度 平成21年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成23年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名

会計区分 一般会計 款 6. 農林水産業費 項 2. 林業費 目 1. 林業振興費

担当課 産業振興課 担当係名 林業振興係 調書作成者職氏名 課長補佐 推名 徹

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 59

分類	コード	名 称
基本目標	2	産業を育てる“まちづくり”
施策項目	10	林業の振興
単位施策	2	林業基盤の整備

I. 事業計画

(1) 対象	【事業の相手】 ※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 平成20年度の国の補正予算（臨時交付金）により、道の基金としてH21年度からH23年度の3カ年で行う事業で、森林整備活性化・林業再生事業による基幹作業道豊野線を実施。 平成23年度に地域自主戦略交付金を活用して林道改良事業により幹線林道ルロチ線を実施。
(2) 手段	【事業の概要】 ※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 ・基幹作業道 L＝1,090m（m当り 14,000円補助） ・トラックの走行が可能な作業道で、車道幅員1.8m以上 ・幹線林道ルロチ線改良事業 A＝3,000㎡ ・法面緑化が風化し土砂が崩れ、車両通行に支障をきたしており法面整備を行う。
(3) 目指す姿	【事業の成果】 ※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 森林吸収目的のため、間伐の促進と間伐材の有効利用を図る林内路網の整備

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	成果指標	測量委託	目標値 実績値	m		1,090			
2	成果指標	工事	目標値 実績値	m			1,090		
3	成果指標	法面改良	目標値 実績値	㎡				2,880	
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決算	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 予算	20～24年度 合計
事業費(千円)	0	0	1,674	9,607	18,382	0	29,663
財源内訳							
国庫支出金			1,674	9,607	9,054		20,335
道支出金							0
地方債					7,829		7,829
その他							0
一般財源					1,499		1,499

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☐ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☒ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	ルロチ線については、法面より土砂が崩れ車両通行に支障をきたしているので早期に安全確保が図られた。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☒ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	ルロチ線については、道51/100の補助あり。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☐ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☒ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☐ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	平成23年度にて完了。

特記事項

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	終 了	平成23年度で完成。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続【現状維持】⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続【拡 充】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続【縮 小】⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続【統 合】⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの